

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公表番号】特表2004-528032(P2004-528032A)  
 【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)  
 【年通号数】公開・登録公報2004-036  
 【出願番号】特願2002-574375(P2002-574375)  
 【国際特許分類第7版】

C 1 2 Q 1/68  
 C 1 2 N 15/09  
 G 0 1 N 33/53  
 G 0 1 N 33/566

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A  
 G 0 1 N 33/53 D  
 G 0 1 N 33/53 M  
 G 0 1 N 33/566  
 C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成15年11月21日(2003.11.21)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

遺伝学的に決定される高血圧症の特定の型を定量的に診断するための、s g kファミリーのヒト相同体の過剰発現または機能的分子改変と、高血圧症との間における直接的な相関を使用する方法。

【請求項2】

該s g kファミリーのヒト相同体は、h s g k 1遺伝子であることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

過剰発現または機能改変は、h s g k 1遺伝子中の、イントロン6内におけるヌクレオチド多型(SNP)：(T C)に起因していることを特徴とする、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

過剰発現または機能改変は、h s g k 1遺伝子中の、エキソン8内におけるヌクレオチド多型(SNP)：(C T)に起因していることを特徴とする、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

s g kタンパク質ファミリーのヒト相同体に対して特異的である抗体、または、厳格な条件下において、s g k遺伝子ファミリーのヒト相同体とハイブリッド形成することができるポリヌクレオチド、もしくは、これらの抗体とポリヌクレオチドとをともに、これらの相同体の過剰発現または機能的分子改変の定量的な測定のために含んでなる、遺伝学的に決定される、高血圧病態における特定の型の定量的診断用キット。

【請求項6】

該 s g k ファミリーのヒト相同体は、h s g k 1 遺伝子であることを特徴とする、請求項 5 に記載のキット。

【請求項 7】

該抗体は、S N P により突然変異された h s g k 1 タンパク質の変異型に対して特異的である、あるいは、該ポリヌクレオチドは、厳格な条件下において、S N P により突然変異された h s g k 1 遺伝子の変異型と、ハイブリッド形成することができることを特徴とする、請求項 6 に記載のキット。

【請求項 8】

該ポリヌクレオチドは、厳格な条件下において、イントロン 6 内の S N P : ( T C ) により突然変異された h s g k 1 遺伝子の変異型と、ハイブリッド形成することができることを特徴とする、請求項 7 に記載のキット。

【請求項 9】

該ポリヌクレオチドは、厳格な条件下において、エキソン 8 内の S N P : ( C T ) により突然変異された h s g k 1 遺伝子の変異型と、ハイブリッド形成することができることを特徴とする、請求項 7 に記載のキット。

【請求項 10】

遺伝学的に決定される、高血圧の病態の特定の型を定量的に診断する方法であって、s g k ファミリーのヒト相同体の過剰発現またはこれらの相同体の機能的分子変化が、該相同体のタンパク質に対して特異的である抗体、もしくは、厳格な条件下において、該相同体の D N A または m R N A とハイブリッド形成することができるポリヌクレオチドを用いて、患者身体由来の試料中の該相同体を定量的に検出することにより、検出されることを特徴とする方法。

【請求項 11】

該 s g k ファミリーのヒト相同体は、h s g k 1 遺伝子であることを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

該ポリヌクレオチドは、厳格な条件下において、h s g k 1 遺伝子中の、イントロン 6 内の S N P : ( T C ) の変異型の D N A または m R N A とハイブリッド形成することができることを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

該ポリヌクレオチドは、厳格な条件下において、h s g k 1 遺伝子中の、エキソン 8 内の S N P : ( C T ) の変異型の D N A または m R N A とハイブリッド形成することができることを特徴とする、請求項 10 に記載の方法。